

# お手入れの方法

ご使用後はいつでも清潔にご使用いただくために必ずお手入れしてください。

- **本体** ①湯で薄めた台所用洗剤をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふきとる。  
②やわらかい布でからぶきする。  
③本体の丸洗いは絶対しない。
- **中びん** ①湯で薄めたクエン酸を柄のついたスポンジブラシに含ませ、静かに洗う。  
②湯を入れ、軽く振ってすすぎ洗いを2～3回し、洗剤を洗い流す。
- **中せん** ①水またはぬるま湯をやわらかい布に含ませ、固く絞り、汚れをふきとる。  
②やわらかい布でからぶきする。  
③中せんのつけ洗いは絶対しない。

# こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	点検するところ	処置
■お湯が さめやすい	中せんがしっかりとしまっていますか？  中びんが破損していませんか？ 熱湯をほぼ満量入れ、20～30分後本体を手でさわってみてください。	しっかりとしめなおしてください。  もし本体が温かいようであれば、お買い上げの販売店もしくはお客様相談窓口にご連絡ください。

※中せんは消耗品です。使用後1年を目安にご確認ください。

# フレークスが発生した場合のご注意

まほうびんにお湯を入れておくと、キラキラ光るものをみつけることがあります。これは『フレークス』と呼ばれ、お湯の中に溶け込んでいるミネラル成分が化合して、ガラスびんの内壁に薄い膜を作り、これがはがれて浮遊したものです。フレークス自体は健康上有害なものではありませんが、もし発生した場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 定水量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内面を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。



この商品には左のようなマークがついています。このマークは安全性の確保と消費者保護のうえから経済産業省の指導のもとで全国魔法瓶工業組合が自主的に安全基準を定めこれに合格して与えられるマークです。

# アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買い上げの販売店もしくはピーコック魔法瓶工業(株)のお客様相談窓口にてご相談ください。

# 消耗部品のご購入について

製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品背面に記載されています)

- ① **ホームページ**……… トップページ of オンラインショップからお求めください。(取扱部品に限られておりますが、ご了承ください)
- ② **販売店**……… ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ **お客様相談窓口**……… お電話もしくはFAXにてお申込みください。

部品名	
GHA、GHB、GHC型	中せん
SJP型	中せん

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

## お客様相談窓口 0570-094891

- 受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00  
月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ  
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589  
製品の型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。



## ピーコック魔法瓶工業株式会社

本社 〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

# Peacock

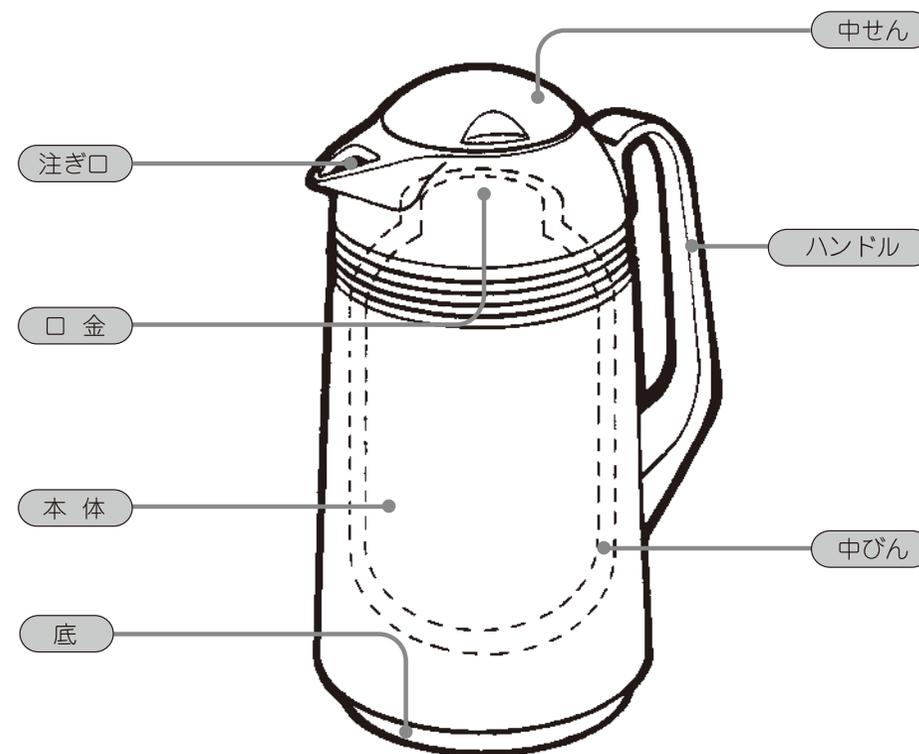
## 卓上用ポット GHA・GHB・GHC・SJP

# 取扱説明書

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。ご使用前にこの説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

# 各部のなまえ

イラスト(図)はGHA・GHB・GHC型のものです。



説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。

後々のため、この説明書を大切に保管してください。④

# ご使用方法

ご使用前に中びん・中せん・口金・注ぎ口は十分お手入れください。

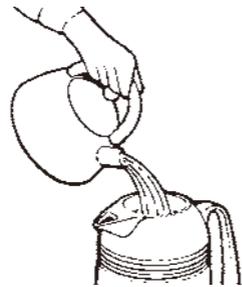
## 1 中せんをはずす

①中せんを矢印の方向にまわしてはずす。



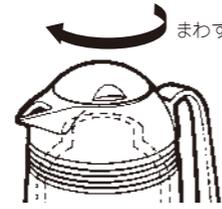
## 2 湯(冷水)を入れる

①直接、中びん内に湯(冷水)が落ちるように入れる。  
※熱いやかんを口金に触れさせないでください。  
※湯(冷水)の量は、湯口より約2cm少なめにしてください。  
入れすぎると注ぎ口からふき出ることがあります。  
※保温(保冷)する場合は、あらかじめ少量の湯(冷水)を入れて1分程度予熱(予冷)するとより効果的です。



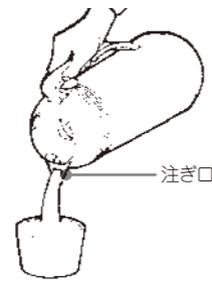
## 3 中せんをしめる

①中せんは最後までゆっくり確実にしめる。



## 4 湯(冷水)を注ぐ

①中せんを約半回転ゆらめ、傾け注ぐ。  
※湯(水)がいっぱい入っている場合は、少し傾けただけで湯(水)が出ますので、急須などを注ぎ口に近づけてください。  
※注ぎ口が斜めの状態で注がれますと、口金から胴部へと水滴が払い落ち、テーブル等を汚すことがありますのでご注意ください。



## 5 注ぎ終わったら

①注ぎ終わったら、中せんを最後までゆっくり確実にしめる。(元にもどしてください)  
※注湯後は必ず、中せんをしめてください。  
そのままですと、万一ポットが倒れた場合に湯(冷水)が出たり、保温(保冷)効果が下がります。



# 必ずお守りください

もれやあふれはやけどや他のものを汚す原因となります。

### 飲みものの保温・保冷以外に使用しない

乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。  
やけど・けがなど危険。



次の物は絶対に入れない。

- ドライアイス・炭酸飲料など  
本体内の圧力が上がり、中せんがあかなかつたり、湯(水)がふき出たり、部品が破損して、けがなどのおそれ。
- 牛乳・乳飲料・果汁など  
腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、湯(水)がふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。
- 果肉・お茶の葉など  
もれなど故障の原因。



持ち運びは、ハンドルを持つ。  
傾けたり横抱きしない。やけど・汚れの原因。



自動車に乗せて使用しない。  
やけどをしたり、車内や衣服を汚す原因。



こんな場所には置かない。  
ストーブやコンロなど、火のそばや直射日光のあたる場所では使用しない。変形・変色の原因。



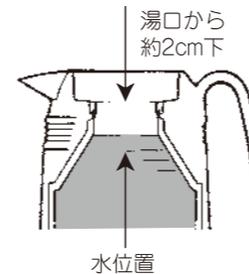
本体の丸洗いはしない。  
水が侵入し、サビや他のものを汚す原因。



倒したり、落としたり、ぶついたり、強い衝撃や振動(特に上下の振動)を与えない。  
中びん破損の原因。お湯が出てやけどのおそれ。



湯(水)の量は、湯口より約2cm下にする。



- 中せんは確実にしめて使用する。
- 飲みものを入れたときは、横転させない。  
飲みものもれることがあり危険
- 傾けた状態や顔の近くで中せんをあけない。  
飲みものや水蒸気が勢いよく出てやけどなどのおそれ。
- 中せんの丸洗いはしない。
- 本体・中せんの煮沸はしない。  
変形しもれなど故障の原因。

- 熱い飲みものを入れて使用するときは、本体を急に傾けずゆっくりと注ぐ。
- 急熱・急冷などの強いショックを与えない。  
中びん破損の原因。
- プラスチック袋(製品袋)を頭から被ったり、顔を覆ったりしない。  
窒息するおそれ。
- 改造や分解修理はしない。  
故障や事故の原因。

# ご注意とお願い

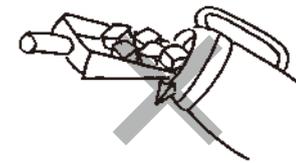
●漂白剤・シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。傷・サビなど故障の原因。



●熱いやかんを口金に触れさせない。傷・変形の原因。



●氷を入れる場合は先に飲み物を入れてから、ポットを少し傾け氷をすべらすように静かに入れる。氷を直接入れると、中びんが破損するおそれ。



- 飲みものを長時間保存すると腐敗するおそれ。  
また生もの・乳飲料など変質・腐敗しやすいものの保温はやめる。
- 熱いお茶を入れて保温した場合、お茶の色が変わることがあるため、中びんの中にはお湯を入れ、お茶のときは急須を使用する。
- 使用後は必ず中せんをきれいに洗う。